

東京・上野 国立科学博物館

科学技術が生活を変えた

夢をかなえた激動の150年

古河中等瓦版

茨城県立古河中等教育学校
文藝部発行



特別展明治150年記念「日本を変えた千の技術博」が、10月30日(火)から3月3日(日)まで東京・上野の国立科学博物館で開催される。明治150年を記念し科学技術に焦点を当てた特別展だ。600点を超える化学遺産や機械遺産などに登録された資料が会場に所狭しと並んだ。

今回の特別展は、明治初期から現在に至るまで、日本の科学者、技術者たちが発見・発明した資料が見られる貴重な機会だ。また、日本が学んだ西洋の技術もあわせて確認できる。それぞれの時代の科学・技術・研究・開発品はもろろんのこと、当時最先端だった「デザイン」も見逃せない。現在、私たちが日常的に使っている科学・技術のすべては、過去の科学者や技術者が、英知と未来への希望をもって発見・発明し、研究してきたものだ。発明当時の時計や冷蔵庫、ラジオ、計算機など、改良され現在の形へと変遷する様子が一目瞭然だ。受け継がれてきた技術が、現在の生活を支えていることを再確認できる。また、はやぶさに搭載されたエンジン「マイクロ波放電式イオンエンジン」



▲和やかに開会式でのテープカット



←エジソンの「クラスM蓄音機」

「クラスM」は、膨大な費用を使い作られたという。値段が付けられないほど貴重な、技術発展に貢献した資料ばかりが並ぶ。多くの展示品の中で目を引くのは、エジソンが明治天皇に献上した「クラスM蓄音機」だ。音楽は、生演奏でしか聴くことができなかった時代に登場し、文化の進歩に貢献した発明品だ。展示をする上で重視したのは、物語性だそう。各所に、展示品のエピソードや隠された裏話などが紹介されている。明治時代のランプの方が江戸時代の行灯よりも火事が多かった理由や、発電所の送電記録に隠された話、エレベーターボーイ発見の話など、技術発展の裏話を垣間見ることが出来る。資料の一つ一つがもつストーリーが観る者を飽きさせない。

明治維新からの150年、脈々とつながっている科学・技術に思いを馳せずにはいられない。



国立科学博物館
理工学研究部
科学技術史グループ
有賀暢迪研究員

教師として呼び寄せられたのだ。20年ほど経つと、日本人自身が教師として成長していった。展示の中に何人も科学者が登場するのは、「来場者に明治時代の科学者がどこで学んだのかを知ってもらうこと

日本科学の幕開け

学への照会」は、女性博士として活躍する時代の幕開けを知ることの貴重な資料だ。



▲初公開の掛図

特別展の会場に入ると、明治時代に学校で使われていた資料が展示されている。有賀研究員は、以前から国立科学博物館に収蔵されていた「学校・家庭用掛図」、「小学用博物図」を展示品として使った。現在の、写真のスライドショーや資料映像のような役割だったとみられる。このうち「小学用博物図」は、

明治維新直後の日本には、科学者という職がなかったそう。また、高等教育機関でさえ科学を教えられない日本人はいなかった。日本人は西洋へ勉強しに行ったり、外国人を

か、その後の歴史を築く基礎になる」からだそう。

こうして日本で科学者が増え、庶民にも学校を通して、科学が浸透していった。すると、科学が目覚める女性が登場して来る。「女性の東北帝国大学受験に関する文部省から大

想像もつかない未来が



国立科学博物館
理工学研究部
若林文高部長

展示を監修した前島グループ長は、中・高時代に物理部に所属していた。中高一貫校で上級生も多く、訪れる先輩も多い環境だったそう。自分よりも知識量が多い人に何かを教わるというのが楽しい」と感じ、物理をより学びたいと思ったという。以前知合いの教授たちに、その道に進んだきっかけを尋ねたことがあるそう。すると、「大人がやらなそうなお仕事だったから」「大人ができないと思ったから」と子ども時代に興味をもったことを理由に挙げた人がいた。現代の中高生は、スマートフォンやゲームなどの「自分だけの機械」をもっている

展示をする上で重視したのは、物語性だそう。各所に、展示品のエピソードや隠された裏話などが紹介されている。明治時代のランプの方が江戸時代の行灯よりも火事が多かった理由や、発電所の送電記録に隠された話、エレベーターボーイ発見の話など、技術発展の裏話を垣間見ることが出来る。資料の一つ一つがもつストーリーが観る者を飽きさせない。

若林部長は、鉄腕アトムのアニメをきっかけに科学に興味をもったそう。また、高度経済成長期の日々発達する日本を少年時代に目の当たりにした。科学技術によって変わりゆく日本に感動した。科学の力が、日本をひいては世界を動かすのだと信じて、科学の道を志した。今回、日本の合成樹脂や合成繊維の歴史を始めた化学工業についての展示などに携わった。



国立科学博物館
理工学研究部
科学技術史グループ
前島正裕グループ長

